

授業科目名	公衆衛生看護活動展開論 I		担当教員	◎鶴岡章子、川上裕子、 佐々木亜希子、野村浩子、 田中和代、岡田まゆみ、山口恵子	科目ナンバリング NP402
選択	開講年次：4年前期	単位：2単位	授業形態：講義30時間		

【授業概要】

対象となる人々のライフステージや健康特性に応じた公衆衛生看護活動の基本的な考え方と展開方法を理解する。さらに、公衆衛生看護活動の根拠となる法律や制度をふまえ、地域における保健師の活動の場と役割、具体的な活動内容と活動の在り方、住民の健康生活を支える地域ケアシステムの構築について学修する。

【達成目標】

1. 対象のライフステージや特性に応じた公衆衛生看護活動の展開方法を理解する。
2. 公衆衛生看護活動の法律・制度の関連を理解する。
3. 人々の暮らしと健康を支える公衆衛生看護活動や保健師の役割について考察することができる。

【履修条件】

3年次後期までに開講されている保健師教育の必修科目を履修していること。

【授業計画】

- | | | |
|---------------|-----------------------------------|-------|
| [01] 母子保健活動① | 母子保健の理念と母子保健施策、健やか親子21と子ども・子育て新制度 | (鶴岡) |
| [02] 母子保健活動② | 母子保健活動の実際 | (佐々木) |
| [03] 母子保健活動③ | 健康上のリスクをもつ母子への保健指導 | (佐々木) |
| [04] 成人保健活動① | 成人保健の理念、成人保健施策(健康日本21、健康増進層等) | (鶴岡) |
| [05] 成人保健活動② | 生活習慣病と保健指導、特定健康診査・特定保健指導 | (鶴岡) |
| [06] 高齢者保健活動① | 高齢者保健活動の理念、高齢者保健医療福祉の変遷、介護保険制度 | (川上) |
| [07] 高齢者保健活動② | 健康な高齢者と保健活動、介護予防 | (野村) |
| [08] 高齢者保健活動③ | 要支援・要介護高齢者と介護者への支援(虐待、認知症、老老介護) | (田中) |
| [09] 感染症保健活動① | 感染症保健活動の理念・変遷、感染症法、感染症と保健師活動 | (鶴岡) |
| [10] 感染症保健活動② | 主な感染症と保健師活動、感染症に係るヘルスケアシステム | (鶴岡) |
| [11] 精神保健活動① | 精神保健の理念と変遷、心の健康づくり対策と保健師活動 | (鶴岡) |
| [12] 精神保健活動② | 主な健康課題と保健師活動(うつ病、自殺、嗜癖・依存症、引きこもり) | (岡田) |
| [13] 障害者保健活動 | 障害者保健の理念と障害者保健施策、障害者の自立支援と保健師活動 | (山口) |
| [14] 難病保健活動 | 難病保健活動の理念と難病保健施策、地域の難病療養者と保健師活動 | (鶴岡) |
| [15] 歯科口腔保健活動 | 生涯を通じた歯科口腔保健対策、対象別歯科口腔保健活動 | (鶴岡) |

【教科書】

荒賀直子他(2022). 公衆衛生看護学.jp 第5版(データ更新版)、インターメディカル.

【参考書】

松田正己他(2022). 標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動、医学書院.
厚生労働統計協会(2022). 国民衛生の動向(2022/2023)、厚生労働統計協会.
厚生労働統計協会(2022). 国民の福祉と介護の動向(2022/2023)、厚生労働統計協会.

【評価方法・評価基準】

定期試験70%、課題レポート30%

【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：公衆衛生看護学に関する科目、および各看護学領域で学修した関連箇所を復習して授業に臨む。教科書の該当箇所を事前に学習しておく(2時間)。

事後学習：各回の授業内容を、教科書および授業時に配布した資料等で復習しておく(2時間)。

【教育目標(必須要素)との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅱ. 根拠に基づいた看護実践能力、Ⅳ. ヘルスプロモーションと予防の実践能力と関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

課題レポートは評価しフィードバックする。

【備考】

(保選)保健師国家試験受験資格取得のための選択必修科目
保健師教育課程の履修許可を得た学生のみ履修可能